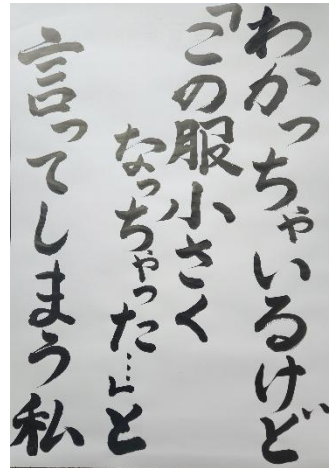


慶念寺々報

つなばかり

慶念寺の掲示板 第四十四回



「わかつちやいるけど『この服小さく

なっちゃった...』と言ってしまう私」

子どもの成長は早いもので、「この服、もう短いねえ!」と言うことも多いです。

その他にも、かつてはお洋服が好きだった私。特に学生のころに、色々やりくりしてちよつと背伸びしたお値段の服などはなかなか捨てられません。なので、衣替えの時に時々出してみるのですが、若干の締め付けを感じつつも着られるんです。でも、ボタンが閉まらない。頑張っても閉まらない。そういった時に「この服小さくなっちゃった...」と呟きます。でも、しまっても服は小さくなりません。私が大きくなったんです。子どもの服にしても、子どもが成長したんです。子ども、「この服が小さくなっちゃった



...」と言ってしまう私がいま

す。ありのままに見るのではなく、あくまでも「自分」が基準となつて物事を見る。そして、その「自分」とは移り変わつて

いくものなのです。これを「自分中心のものの見方」というのです。「自分中心のものの見方」と言うのは「自分がよければいい」ではなく、わかつてはいるけど、自分を基準に考へてしまう私のあり方を表しています。だから、理想と現実の間に苦しむ。それが私たちなのです。

今回は、服でお話しましたが、それが健康のことでもあるかもしれません。人間



キャリアのことでもあるかもしれません。人間関係のこともあるかもしれません。自分中心のものの見方で見ていると、どうしてもままならないのが私たちの人生なのです。

でも、ここから離れられないのも私たち。だから時として傷つけあつてしまうことも、苦しむこともあるのです。そのような私たちだからこそ、届いてくださるおはたらきがある。とらわれから離れられないからこそ「そ

帰敬式のおすすめ(法名)

帰敬式というのは、浄土真宗の教えをよりどころに生きる自覚を新たにし、生前に法名をいただく大切な儀式です。本来浄土真宗では生きている「今」に帰敬式を受式し法名をいただくのが本来のあり方です。ご希望の方は慶念寺にお尋ねください。

のまま抱きとるよ」という阿弥陀如来が届いてくださっているんです。そのはたらきの中にあるからこそ、自分自身のあり方を見つめ、一步一步しっかりと歩んでいこう。そう思い、今月の掲示を「わかつちやいるけど『この服小さくなっちゃった...』と言ってしまう私」にいたしました。

学生さんが研鑽に来ます!



来月の法話会は住職もかつて在籍していた龍谷大学実践真宗学研究科の学生さんが、布教実践をしに来てくれます。これは、布教の経験を積むために、引率の講師の先生と一緒に実際にお寺で法話をするというものです。住職もそうですが、

ただいている南條了瑛先生も学生時代に布教実践で研鑽を重ねました。

しかし、布教実践は聞いてくださる方がいらつしゃつてこそです。ですので、出来るだけ多くの方にお参りいただいて学生さんの研鑽の一助となればと存じます。

日時は五月二十四日(土) 十四時から。勤

行の後に、二名の学生さんからお取次ぎをいただきます。そして、その後は住職が勝手に師匠とお慕いしている葛野洋明先生より、まじめのご法話を賜ります。ぜひフレッシュな学生さんのお話を聞きにいらしてください!



築地本願寺の降誕会

が勤まります！



五月二十一日(水)築地本願寺にて、親鸞聖人のお誕生日を機縁とした降誕会(ごうたんえ)という法要が勤まります。

法要は一日中やっておりますが、住職は十二時三十分から行われる献茶式(けんちやしき)から雅楽を演奏する楽人として出仕し、献納楽(けんのうがく)・法要とずつと演奏をしております。当日の詳しいタイムテーブルは築地本願寺のHPで知ることが出来ますので、是非ご確認ください。

また、法要終了後には帰敬式を受式することもできます。帰敬式とは、生前に法名をいただく式で、浄土真宗では生前におかみそりを受けて法名を賜るのが本来のあり方です。仏弟子として生まれる人生で二つ目の誕生日という事も出来ます。ご希望の方は、住職ま

仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また日程や会場・葬儀社が**お決まりでも、お寺への連絡は直接お問い合わせいたします。**

でお知らせください。ただし、希望の文字をお付けする「内願法名」は受式三か月前の申請が必要です。今回は宗派で選定していただく「選定法名」のみの受付となります。

発送作業のお手伝いのお願い

寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

日時：令和七年五月二十五日(日)

十四時から

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

みんなでワイワイとおしゃべりしながらやっている発送作業です。寺報を折って封筒に詰めるだけ。時々子どもたち参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありましたら是非お越しくださいませ。ご希望の方は、終了後に駅までお送りいたします。

ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

次回の法話会は

五月二十四日(土) 十四時から 慶念寺本堂

にて「降誕会法話会」を行います。大学院生と住職の師匠がお話をしてくれます。皆様のお参り、心よりお待ちしております。

編集後記



先月の編集後記でも書きましたが、来月に学生さんと師匠がお話に来てくれること、そして、六月十五日の法話会にはバイオリンのお坊さんがお話に来てくれます。また六月二十七日に控える雅楽会の演奏会。今からとても楽しみです。

ちなみに住職、雅楽会の演奏会では「納曽利(なそり)」と言う楽曲に舞で出演すべく絶賛練習中。これが見た目以上にハードで、連日しっかりと汗をかいています。練習のし過ぎで、若干膝が痛い。もう二十代のころとは体が違うことを文字通り痛感しております。そして、来月の寺報の発送作業は法話会の次の日。連日になってしまいました。なぜならば、学生さんの法話の後に、ちよつとだけ講義をしなければいけないから。申し訳ありませんがご予定いただけますと幸いです。

浄土真宗本願寺派
歓喜山 慶念寺

〒214-0012

川崎市多摩区中野島 4-24-2-5

電話：044-819-5482

FAX：044-819-5538

Email：mail@kyounenji.com

ホームページ URL

https://kyounenji.com/



慶念寺ホームページ QR コード